

- 普通徴収切替理由書の記載例 ※様式は市町村によって多少異なります。

普通徴収切替理由書			
市区町村名	〇〇市	指定番号	12-34567
事業者名	株式会社〇×商事		

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2人以下 <small>(下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)</small>	人
普B	他の事業所で特別徴収	人
普C	給与が少なく税額が引けない(住民税非課税の場合など)	人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	1人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	1人
合計		2人

○ 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。

○ この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

○ 符号「普F」欄の休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払を受けていない場合に限ります。

- ① 普通徴収に切り替える場合は、符号(「普A」～「普F」)を「給与支払報告書(個人別明細書)」の摘要欄に記載してください。
 eTAXにより給与支払報告書を提出する場合でも、個人別明細書の摘要欄に符号を入力し、「普通徴収」欄にチェックしてください。
 なお、「普A」～「普F」の6つの理由以外による普通徴収は認められません。
- ② 「給与支払報告書(総括表)」の「報告人員」のうち、「普通徴収対象者(退職者)」と「普通徴収対象者(退職者を除く)」の合計と一致します。